

第32回医薬品副作用被害等救済給付審査申立検討会:2016年12月15日(木)

副作用等被害救済給付の決定内容に係る審査結果

番号	主な原疾患等	医薬品名	副作用名※	理由	審査結果
1	気分変動症、統合失調症疑い	判定不能	判定不能	判定不能であるため	棄却
2	乳癌	判定不能	判定不能	判定不能であるため	棄却
3	統合失調症	リスパダール錠1mg、セレネース注5mg、ロヒプノール錠2、ベゲタミン錠-A、ジブレキサ錠10mg、コンミン糖衣錠50mg	呼吸抑制、血圧低下(疾病) 呼吸抑制、血圧低下に続発した低酸素脳症による両下肢機能障害(障害)	障害年金について支給	容認
4	うつ病、それに伴う不眠、食思不振、身体表現性障害等	ドグマチール錠50mg、ベゲタミンB配合錠	遅発性ジストニアによる両下肢機能障害	障害等級非該当であるため	棄却
5	潜在性結核感染症	イスコチン錠100mg	末梢神経障害(疾病) なし(障害)	障害が認められないため	棄却
6	社交不安障害、疔贅	判定不能	判定不能	判定不能であるため	棄却
7	腎性貧血、慢性腎不全	エポジン注シリンジ1500	アナフィラキシー様ショックに続発した低酸素脳症による高度脳機能障害	障害年金について支給	容認
8	関節リウマチ	なし	なし	医薬品以外の原因によるため	棄却
9	低ガンマグロブリン血症、悪性リンパ腫(血管免疫芽球形T細胞性リンパ腫)	なし	なし	医薬品以外の原因によるため	棄却
10	C型肝炎	ベガシス皮下注90μg	脳出血による視野障害及び高次脳機能障害	障害等級非該当であるため	棄却
11	盲腸癌	ポプスカイン0.25%注バッグ250mg/100mL	胸腰部神経根障害(疾病) 胸腰部神経根障害による両下肢機能障害(障害)	障害等級非該当であるため	棄却
12	精神不安、胃炎、不眠、パーキンソン症、眼病、ジストニア、不安、興奮、統合失調感情障害	リスパダール錠3mg、リスベリドン錠2mg「アメル」、リスパダール錠2mg、リスパダール錠1mg、ロナセン錠4mg、セレネース錠3mg、セレネース錠1mg	遅発性ジストニア(体幹後屈及び開眼困難)による体幹機能障害および日常生活障害	障害年金について支給	容認
13	(予防)	サーバリックス	頭痛、めまいによる日常生活障害	障害年金について支給	容認
14	(微弱陣痛)	なし	なし	医薬品以外の原因によるため	棄却
15	うつ病	クエチアピン錠25mg「アメル」、ジェイゾロフト錠25mg、エビリファイ錠3mg、ジェイゾロフト錠50mg	遅発性ジスキネジア、遅発性ジストニア(疾病) 遅発性ジスキネジア、遅発性ジストニアによる体幹及び肢体機能障害(障害)	①副作用に対する医療ではないため ②救済給付の対象となる入院相当の医療に該当しないため ③原審の判断した給付の種類が妥当であるため	棄却
16	心房中隔欠損症術後	なし	なし	医薬品以外の原因によるため	棄却
17	統合失調症、薬剤性パーキンソン症、感冒、胃炎、湿疹等	判定不能	判定不能	判定不能であるため	棄却
18	(予防)	サーバリックス	疼痛、不随意運動、脱力、認知機能低下、頭痛、腰痛、関節痛、筋肉痛、倦怠感等	原審の決定理由が妥当であるため	棄却
19	うつ病、アルツハイマー型認知症、脱水症	—	—	—	保留
20	気管支喘息、感冒	—	—	—	保留
21	不安定狭心症、痛風、高尿酸血症、高コレステロール血症	アロプリノール錠100mg「サワイ」、ピタバスタチンCa錠1mg「明治」	間質性肺炎	救済給付の対象となる入院相当の医療に該当しないため	棄却
22	老人性精神障害	判定不能	判定不能	判定不能であるため	棄却
23	(予防)	なし	なし	医薬品以外の原因によるため	棄却
24	てんかん	ラミクタール錠25mg	多形紅斑型薬疹	不適正使用であるため	棄却
25	(予防)、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎等	サーバリックス	しびれ、頭痛、関節痛、認知機能低下、失神、脱力、不随意運動等	原審の決定理由が妥当であるため	棄却
26	統合失調症	判定不能	判定不能	判定不能であるため	棄却
27	(予防)	判定不能	判定不能	判定不能であるため	棄却
28	膵臓癌、閉塞性黄疸、敗血症性ショック	なし	なし	医薬品以外の原因によるため	棄却
29	(予防)	判定不能	判定不能	判定不能であるため	棄却
30	H-Pylori除菌療法	タケキャブ錠20mg、アモリンカプセル250、クラリス錠200	汎発型薬疹	救済給付の対象となる入院相当の医療に該当しないため	棄却
31	外傷によるてんかん発生予防	アレピアチン錠100mg	急性腎不全による腎機能障害	障害等級非該当であるため	棄却
32	(検査)	オムニパーク300注シリンジ150mL	アナフィラキシー様ショック	原審の判断した給付の種類が妥当であるため	棄却

※副作用のうち、当該医薬品の副作用と認められなかった場合については「なし」と記載。